



秋田北鷹高校 農場たより

NO.7 令和元年7月

「秋田県GAP認証」への挑戦 資材管理 7月9日（火）

これまで作業効率化のため農機具の整理や肥料や資材の在庫管理などを行っていました。今年度、「秋田県GAP認証」への挑戦を機会により効果的な経営のため、資材管理についても見直しました。同時に栽培施設内の環境や、作業のありかたを見つめ直しながら、栽培技術の向上に努めていきたいと考えています。



「豊かな海づくり飾花プランタ用花苗入荷」 7月11日（木）



10/1 JGAP 本審査に向けたあきたこまち栽培が本格化しました。作物班3年生が中心となって種もみ準備をし、播種実習となりました。



「秋田県GAP認証」への挑戦 事前審査会 7月12日（金）

今年度の目標の一つであるGAP教育の取り組みとして野菜部門と果樹部門で秋田県GAP認証を目指しました。

野菜部門では水耕ミニトマト栽培で秋田県GAP認証を目指します。水耕栽培のため完全無農薬栽培を実施していますが、ドリフトのリスクや安全な作業環境なども適切な農場運営には欠かせません。

果樹部門ではハウス栽培のブドウについて秋田県GAP認証を目指します。巨峰とピオーネの他、近年人気が高まっているシャインマスカットについて、取り組みました。

持続可能な農業の基礎を学ぶため、「食品安全の確保」「労働安全の確保」「環境保全の確保」「適切な労務管理」「適切な農場運営」をGAPの実践をとおして学んでいきます。



「秋田県GAP認証」への挑戦 水質検査 7月16日（火）

あきたこまちJGAP認証、ミニトマト・ハウスブドウの秋田県GAP認証に向けて農場地下水の水質検査のため検体を採取しました。採取した水は、外部機関にて水質検査します。



「生物資源科2年 地域農業セミナー」

大館市 陽気なお母さんの店・有限会社アグリ川田 7月18日（木）



大館市中山地区の陽気なお母さんの店を訪問し、産直経営のほか体験型のグリーンツーリズムによる農業の6次産業化に取り組む石垣さんに講話いただき学びました。そして、そば打ちを体験しました。



午後からは、170haという広大な作付けを行っている有限会社アグリ川田さんを訪問しました。こだわりの米・えだまめ・ねぎの栽培と販路開拓や、GGAPに取り組んで地域と共生しながら経営する取り組みを学びました。作付面積の広さ、使用する農業機械の大きさにも圧倒されました。

どちらも、農業を通じて地域を支え、地域をリードして元気を発信する情熱に勇気をいただきました。